

根地政第4000号
令和2年（2020年）2月27日

根室市市民福祉部長様

北海道根室振興局地域創生部長

FMねむろ緊急出演のお知らせ（新型コロナ感染予防対策）【追加情報】

このことについて、2月26日（水）に北海道根室保健所の職員が、FMねむろに出演し、新型コロナウイルスに関する管内の状況や感染予防方法などについて情報提供を行いましたので、その内容について、貴市職員、市立の各施設、関係団体あて周知についてよろしくお願ひします。

なお、農協、漁協、金融機関、商工会議所、福祉施設については根室振興局からも通知しております。

担当：主査（地域創生） 坂本
TEL：0153-23-6817（直通）
E-mail：sakamoto_keiko@pref.hokkaido.lg.jp

保健師編

Q1 根室・釧路地域での感染者状況は？

A 2月25日時点で、根室市内で1名、釧路管内で2名

Q2 市内で感染者発生後、保健所への相談は増えていますか？

A 2月22日から26日までで、約180件の相談

Q3 感染者や関係者に対する ひぼう 中傷 が広がっているとの報道がありますが、根室でも同様ですか

A 根室保健所への相談でも、感染に関してご心配されるあまり心ない発言をされる場合もありました。

全道的に、患者本人や関係者が、 ひぼう 中傷を受けることで心身とも影響をうけ 心のケアが必要な状況があります

地域の皆様には、 冷静な対応をお願いしたいと思います

Q4 感染を把握すると、保健所では どのような対応をしていますか

A ご本人や関係者から、状況を確認し、健康観察が必要な対象を調査し14日間の健康観察を行っています。

また、勤務先には、消毒などの助言も行います。

今回の根室市での発生に関しては、職場から 非常に早い段階で相談があり、2月22日の感染把握当日に 職場の消毒を終了しています。

Q5 健康観察が必要な方とは、どんな人ですか

A 健康観察者は、患者が症状が出た日（発病した日）以降に接触している人のうち

① 同居している人

② 長時間の接触 たとえば、車内や航空機などで一緒に移動したなど
があります。

長時間の判断は、保健所で行動歴を確認した中で、協議して
決めることになります。

③ 感染防護していなかった医療従事者
などとなります

Q6 健康観察者は ウイルス検査をしているのですか？

A いえ、違います

健康観察は、朝晩の2回体温測定をしていただき、咳など呼吸器症状や倦怠感などが無いか、毎日保健所で確認をします。

今回の根室の患者さんの場合は、現時点では23名を対象として、実施しています。

Q7 健康観察は、どのくらいの期間続けるのでしょうか？

A 患者さんと、最後に接触をした日から、14日間実施しています。

最後に接触した日が、みなさん別々なので、健康観察の終了日もそれぞれです。

地域の皆様は 冷静な対応とありましたが、

Q8 感染予防のために 具体的にどんなことができるといいですか

A リーフレット「新型コロナウイルス QA(200222 時点版)」：Q5参照

Q9 気になる体調があったら どうしたら良いですか

A リーフレット「新型コロナウイルス QA(200222 時点版)」Q2

Q10 受診時の注意点はありますか

A 必ず電話をしてから受診すること。

○相談窓口

・平日（8:45～17:30）根室保健所、0153-23-5161

・平日（17:30～21:00）、土日祝（9:00～21:00）

→北海道保健福祉部健康安全局地域保健課：011-204-5020

Q11 家庭でできる消毒方法を教えてください

A

- ・消毒は消毒用アルコール、あるいは次亜塩素酸ナトリウムで消毒してください。
- ・消毒場所は、くしゃみや咳が付着している可能性があるもの、複数の人が触る場所（ドアノブ、手すり、蛇口、各種スイッチなど）を定期的に消毒してください。
- ・濃度は次亜塩素酸ナトリウムなら0.1%、アルコールであれば70%が目安です。
- ・次亜塩素酸ナトリウムは手指や皮膚には使用しないようご注意下さい。

新型コロナウイルスQ&A

令和2年2月22日時点版

心配な時には

Q1 風邪のような症状があり心配です。どうしたらいいですか?

A 発熱などの風邪の症状があるときは、学校や会社を休むなど、外出を控えてください。
毎日体温を測定して記録しましょう。

Q3 最寄りの保健所等(帰国者・接触者相談センター)に相談するとどうなりますか?

A 電話での相談を踏まえて、感染の疑いがある場合には、必要に応じて、新型コロナウイルス感染症患者の診察ができる「帰国者・接触者外来」を確実に受診できるよう調整します。

予防について

Q4 新型コロナウイルスにはどうやって感染しますか?

A 現時点では、飛沫感染と接触感染の2つが考えられます。

- ① 感染者のくしゃみや咳、つばなどの飛沫による「飛沫感染」**
- ② ウィルスに触れた手で口や鼻を触ることによる「接触感染」**

医療機関を受診するとき

Q6 医療機関を受診するときに気を付けることはありますか?

A 複数の医療機関を受診せず、「帰国者・接触者相談センター」等から紹介された医療機関(「帰国者・接触者外来」など)を受診してください。受診するときは、マスクを着用し、手洗いや咳エチケットを徹底してください。

Q2 感染したかも?と思ったらどうしたらいいですか?

A 以下の場合には、最寄りの保健所等にある「**帰国者・接触者相談センター**」に電話で相談しましょう。

- ① 風邪の症状や37.5度以上の熱が4日以上続く**
- ② 強いだるさや息苦しさがある**



- ・重症化しやすい高齢者や基礎疾患がある方に加えて、念のため妊婦さんは、こうした状態が2日程度続いたら相談しましょう。
- ・症状がこの基準に満たない場合には、かかりつけ医や近隣の医療機関にご相談ください。

Q5 感染予防のためにできることはなんですか?

A 以下のことを心がけましょう。

- ① 石鹼やアルコール消毒液などによる手洗い**
- ② 正しいマスクの着用を含む咳エチケット**
- ③ 高齢者や持病のある方は公共交通機関や人込みを避ける**

新型コロナウイルスについて

Q7 感染しても症状が出ない人がいますが、その人からも感染しますか?

A 現状では、はっきりしたことはわかっていないません。通常、肺炎などを起こすウイルス感染症の場合、症状が最も強く現れる時期に、他者へウイルスをうつす可能性も最も高くなると言われています。

より詳しくお知りになりたい方はこちら

厚労省 コロナ FAQ

検索

